

施設カルテ

施設番号	503	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/17
施設基本情報					
施設名	第1 事業所				
所在地(住所)	南区当新田485-1				
所管局区室課	環境局第1事業所				
FM大分類	環境施設	FM中分類	環境施設		
財産中分類	公用財産	地区	-		
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	し尿処理施設		
中学校区	芳田中学校	小学校区	芳明小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	781.45 m ²		
目的外使用	有	建築面積	554.94 m ²		
土地所有状況	-	敷地面積	4,647.07 m ²		



施設概要	事務所、更衣室、倉庫、車庫等				
------	----------------	--	--	--	--

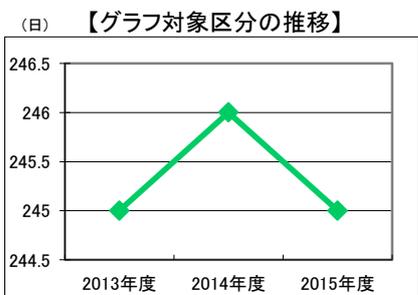
設置目的	廃棄物の適正な収集、運搬を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。				
------	---	--	--	--	--

設置根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
------	------------------	--	--	--	--

用途地域	準工業地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	-	全棟数	6 棟	駐車台数	60 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	洪水時の浸水深
	冷暖房設備	○	設備(電気)	×	津波時の浸水深
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	地震・危険度
	調理設備	○	その他省エネ	×	地震・揺れやすさ
	入浴設備	○	分煙対策	屋外喫煙	地震・液状化危険度
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	土砂災害計画区域等
					指定なし

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	245	246	245	★
1日当たり運営時間	時間	8	8	8	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 503 施設名 第1 事業所

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		21,368	24,191	16,625	
内 需用費	消耗品費	3,583	3,555	2,073	
	燃料費(ガソリン・重油)	4,319	3,780	3,600	
	光熱水費	電気	1,252	1,166	1,092
		ガス	223	846	285
		水道	1,024	1,177	1,112
修繕費	7,157	3,724	3,213		
外	役員費	1,655	1,374	1,198	
外	委託料	316	543	1,403	
外	使用料及び賃借料	91	75	80	
外	備品購入費	0	6,178	177	
外	その他経費	1,749	1,772	2,391	

●運営人員数(人)

区 分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	31	31	30
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

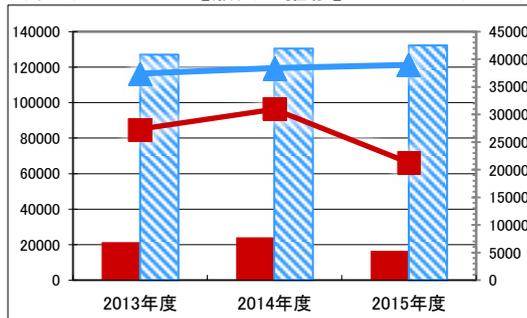
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	外	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

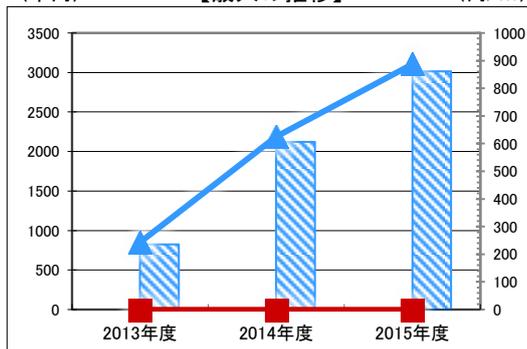
施設分類	環境施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	21,368 第10位	27,344 第15位	
2014年度	24,191 第11位	30,957 第11位	
2015年度	16,625 第10位	21,274 第18位	

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

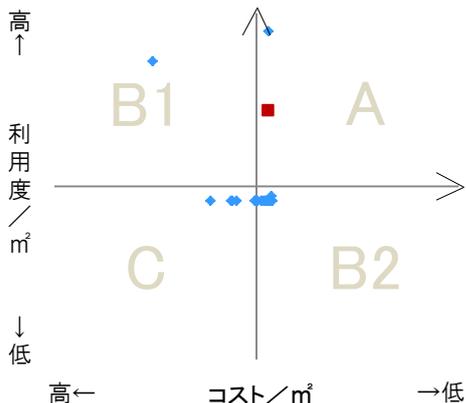
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 513 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	一宮 浄化センター			
所在地(住所)	北区一宮217			
所管局区室課	環境局一宮浄化センター			
FM大分類	環境施設	FM中分類	環境施設	
財産中分類	公用財産	地区	一宮	
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	し尿処理施設	
中学校区	中山中学校	小学校区	中山小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	直営	延床面積	10,950.08 m ²	
目的外使用	有	建築面積	6,454.10 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	17,554.62 m ²	

施設概要
し尿、浄化槽汚泥処理施設処理方式：標準脱窒処理＋高度処理処理能力：300kL／日

設置目的
一般廃棄物の処理(し尿、浄化槽汚泥)市において、生活の場から発生するし尿・浄化槽汚泥を容易に、かつ、迅速に排除し、それらを高度に処理することができる施設において処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。

設置根拠
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第6条の2 市町村の処理等)

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	21 棟	駐車台数	27 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光 屋上緑化・壁面緑化 設備(電気) 設備(雨水・中水) その他省エネ 分煙対策 屋外喫煙 アスベストの使用	出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深 津波時の浸水深 地震・危険度 地震・揺れやすさ 地震・液状化危険度 土砂災害計画区域等	0.01～0.5m未満	
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×		指定なし	
	冷暖房設備	○		階段	×		建物全壊率が3～5%の地域	
	通信設備	○		昇降機	×		震度6弱の地域	
	調理設備	×		便所	×		高い	
	入浴設備	○		駐車場	×		指定なし	
	代替電源設備	○		開設年月日	1968/04/01		供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 513 施設名 一宮 浄化センター

財務情報

●歳出

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計		306,633	310,284	266,049
内 需用費	消耗品費	42,698	37,552	28,454
	燃料費(ガソリン・重油)	392	351	217
	電気	49,751	54,339	51,878
	光熱水費	33	37	37
	水道	5,210	5,205	4,422
修繕費	46,385	43,888	18,763	
外	役員費	325	366	368
外	委託料	157,532	164,474	159,436
外	使用料及び賃借料	73	70	63
外	備品購入費	400	883	450
外	その他経費	3,835	3,118	1,961

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	10	10	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		279	265	307
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	239	224	226
外	使用料及び手数料	41	41	81
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	環境施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	306,633	第5位	28,003 第14位
2014年度	310,284	第5位	28,336 第12位
2015年度	266,049	第5位	24,297 第18位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

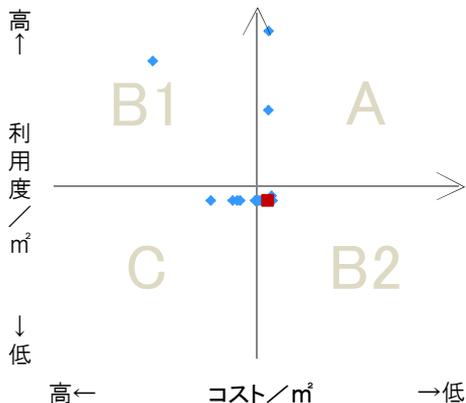
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 603 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/02

施設基本情報

施設名	犬島 浄化センター		
所在地(住所)	東区犬島0178-001-00		
所管局区室課	環境局西大寺事業所		
FM大分類	環境施設	FM中分類	環境施設
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	その他
中学校区	山南中学校	小学校区	朝日小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	清掃防疫施設
管理運営	直営	延床面積	177.10 m ²
目的外使用	無	建築面積	177.10 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	2,552.05 m ²



施設概要
水処理室, ブロー室, 監視室, 休憩室, 倉庫, 便所

設置目的
廃棄物の適正な処理を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。

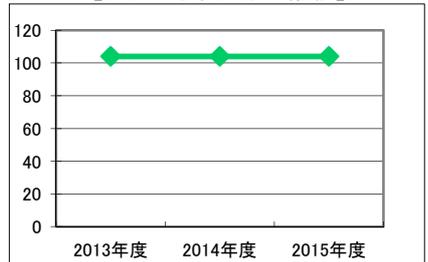
設置根拠
廃棄物の処理及び清掃に関する法律

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	○		階段	—	地震・危険度	建物全壊率が3%未満の地域		
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	低い		
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1987/03/18	供用廃止日	—
						駐車台数	×		
						階段	—		
						昇降機	—		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	104	104	104	★
1日当たり運営時間	時間	8	8	8	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 603 施設名 犬島 浄化センター

財務情報

●歳出

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計		5,973	2,559	3,328
内 需用費	消耗品費	0	-	21
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0
	電気	1,451	1,483	1,443
	光熱水費	0	0	0
	水道	640	515	290
	修繕費	2,019	0	700
内 訳	役員費	-	-	-
	委託料	1,863	562	875
	使用料及び賃借料	-	-	-
	備品購入費	-	-	-
	その他経費	-	-	-

●運営人員数(人)

常勤	0	0	-
非常勤	0	0	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
内 訳	直営	-	-	-
	使用料及び手数料 目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

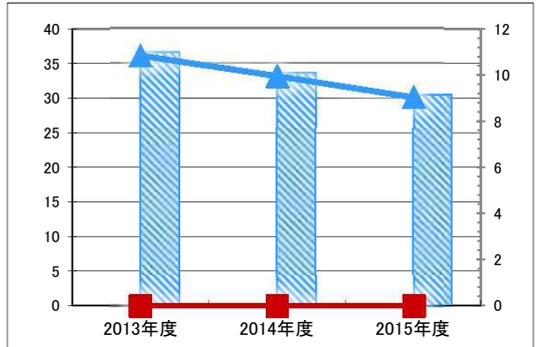
施設分類	環境施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	5,973 第12位	33,728	第10位
2014年度	2,559 第15位	14,450	第19位
2015年度	3,328 第15位	18,792	第21位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

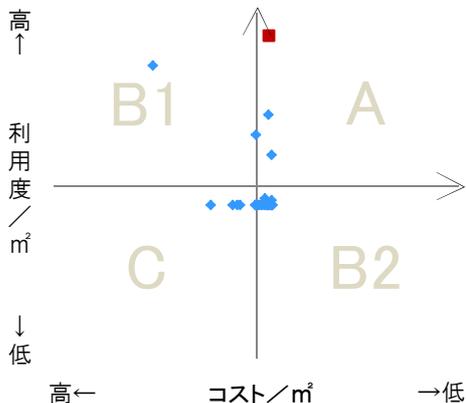
地震の危険度…3%未満揺れやすさ…一部5強あり

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(分類)の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	591	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
------	-----	-----	------------	-----	------------

施設基本情報

施設名	当新田 浄化センター			
所在地(住所)	南区当新田0488-004-00			
所管局区室課	環境局第1事業所			
FM大分類	環境施設	FM中分類	環境施設	
財産中分類	公用財産	地区	—	
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	し尿処理施設	
中学校区	芳田中学校	小学校区	芳明小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	—	
管理運営	直営	延床面積	575.03 m ²	
目的外使用	有	建築面積	575.03 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	4,654.79 m ²	

施設概要	浄化槽汚泥の処理施設
------	------------

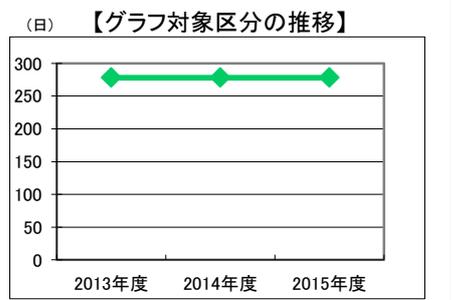
設置目的	廃棄物の適正な処理を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。
------	--------------------------------------

設置根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
------	------------------

用途地域	準工業地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	3 棟	駐車台数	0 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	津波時の浸水深	指定なし
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	地震・危険度	建物全壊率が5~7%の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	地震・揺れやすさ	震度6強の地域
	入浴設備	×	分煙対策	指定なし	地震・液状化危険度	高い
	代替電源設備	×	アスベストの使用	不明	土砂災害計画区域等	指定なし
			出入口	×	開設年月日	1985/03/01
			廊下等	×	供用廃止日	—
			階段	—		
		昇降機	—			
		便所	×			
		駐車場	×			

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	278	278	278	★
1日当たり運営時間	時間	8	8	8	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 591 施設名 当新田 浄化センター

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		323,177	337,048	340,900	
内 需用費	消耗品費	831	1,285	1,297	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	10,934	12,330	12,000
		ガス	19	19	18
	水道	16,733	16,874	16,714	
修繕費	13,532	17,210	21,661		
外	役員費	646	559	46	
外	委託料	279,116	287,277	289,040	
外	使用料及び賃借料	5	0	0	
外	備品購入費	0	117	-	
外	その他経費	1,362	1,377	124	

●運営人員数(人)

勤務形態	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	1	1	1
非常勤	0	0	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

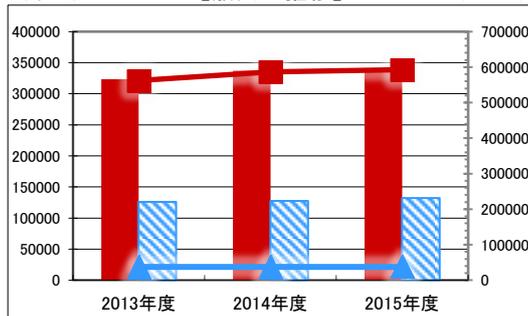
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

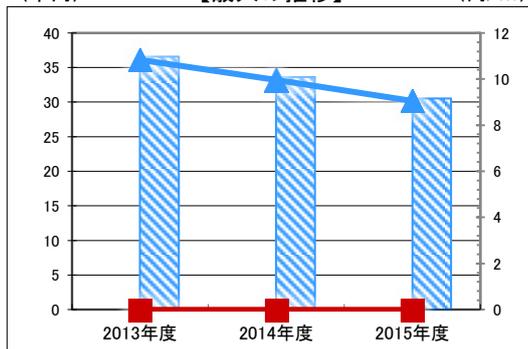
施設分類	環境施設	総施設数	28
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	323,177	第4位	562,017
2014年度	337,048	第4位	586,140
2015年度	340,900	第4位	592,839

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

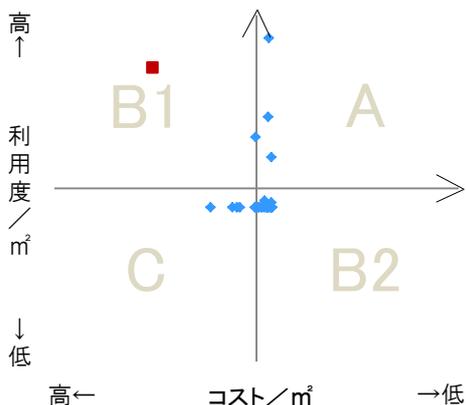
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

